

高岡テクノドームの機能の拡充等に関する検討会（第1回）概要

日 時：令和2年1月24日（金）10:00～11:11

場 所：高岡テクノドーム2階会議室A

概 要：

○知事挨拶

- ・ テクノドームは、新高岡駅に隣接しているほか、大型ショッピングセンターが増床して、県内外からお客さんがいらっしゃる場所になるなど魅力が高まっている。
- ・ これを機会に、高岡テクノドームの機能充実を図り、これまで以上に企業、産業界の皆様が利用されるだけでなく、親子連れやファミリー層が来ていただいて楽しんでいただける、また学んでいただける場としても機能を広めていく可能性があるのではないかと考えている。
- ・ 新幹線の敦賀開業、この先の大阪までの延伸も見据えて、この機会にテクノドームの機能充実を図りたい。経済界などの力も結集してこの地域を魅力ある場所にする。飛越能の結節点であり、大きく発展飛躍する一つの足掛かりになるようなテクノドームの機能になればと思っている。
- ・ 本日は、私どもの方から、これまでのテクノドームの現状や課題、整備の方向性についてご説明しましたうえで、皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

○事務局説明（資料に沿って説明）

○委員からの主な意見

- ・ 現行のテクノドームの使い勝手が悪いところとして、空調が思うように効かないや、音響が悪くて反響して聞こえにくい、比較的小さな展示ができないという点があり、こういう計画があるならば、小さな展示もできる別館もあると、大きな展示場との相乗効果が出るのではないかと。全国規模のコンベンションが開催できるならば、首都圏や関西圏から利用者呼び込めるのではないかと。鉄道のイベントやeスポーツの大会を誘致できるものや、富山にない高岡ならではの機能を持った別館であれば良い。
- ・ ハコものばかりにお金を使うのはいかがか、という考えもあるが、別館で作るならば、東部に対抗するものを作り、20～30年度ももつような規格であってほしい。
- ・ 高岡にはコンベンションホールが存在していないということもあり、これがeスポーツにも使えるということであれば非常に有効な建物になる。子供たちの教育に使えるような場所、展示できるような場所も非常に良い。体験型は重要なポイントであり、お子さんが行きたいなと思えば親も来る。地域の誇りになるようなことを教えられる場になれば良いのではないかと。

- ・ 暖房や配線など床の機能を高めれば、ホールでも会議などができ、平日の活用がもっと増える。省エネ型ホールとして、光熱費をどう抑えるか配慮した先進的な機能があると良い。
- ・ 5Gを活かす大型ビジョンの設置は、eスポーツのほか、臨場感あるスポーツ観戦、会社のPRプレゼンテーションを行う場としても使える。今のテクノドームは、ファミリーが来やすいイベントがないので、映像などに特化した施設を作ると、デジタルアートのようなイベントが開催でき、幅広い世代が集える場所になる。
- ・ 別館整備、5Gの特性を活かしたものにするのは素晴らしく、歓迎したい。もう少し一般的に使えるような、スポーツでも活用できる方向で充実できればよいのでは。
- ・ イオンには若者がたくさん来るので、eスポーツなど若い人向けのイベントがたくさんあり、そこから利用者の層を広げることができるのであれば、5Gの設備を整備し特化するのも良い。子供たちの学び、産業や技術の学び、体験・教えてもらう場という活用は賛成。
- ・ 夏休みや冬休みに「チームラボ」のようなデジタルアートなどが実施できれば良い。地元の素材を使ってほしい。子供たちとものづくりを学べる場所となれば良い。
- ・ テクノドームの周辺は宿泊施設なども不足しており、誘致が必要ではないか。全国規模にも耐えうる収容キャパを意識した検討が必要ではないか。この地域にたくさんの方が集まれば、新幹線かがやきの停車も実現する。テクノドームを核とした地域の賑わい創出が必要。
- ・ 文化・スポーツ活動にも活用できるような、広い意味でのコンベンション機能を付加することが必要ではないか。敦賀開業が控え、その先の大阪延伸を念頭に、首都圏、関西圏など全国的な利用を視野に、新たな機能を別棟、アネックスで確保することは必要ではないか。幅広く多目的で利用できるようにするため、1,000人規模を有するものとして設置し、可動式の客席、床面、音響やビジョンなどの工夫も必要。ICTなどの最先端技術が活用できるよう5Gなどの装備も設置する必要がある。設備面と同時に、運用・運営が重要であり、県が主体となった運営体制を配慮してほしい。